

かくにんテスト

1 よんで こたえましよう。
[50てん]

おじさんは、とつても りっぱな
かさを もって いました。くろくて
ほそくて、ぴかぴか ひかった つえ
のようでした。

おじさんは、でかける ときは い
つも、かさを もって でかけました。
すこしくらいの 雨は、ぬれた ま
ま あるきました。かさが ぬれるか
らです。

もう すこし たくさん 雨が ふ
ると、雨やどりして、雨が やむまで
まちました。かさが ぬれるからです。
いそぐ ときは、しっ
かり だいて、はしっ
て いきました。かさ
が ぬれるからです。



雨が やまない ときは、
「ちよつと しつれい、そこま
で 来て ください。」

と、しらない 人の かさに はいり
ました。かさが []。
もつと もつと 大ぶりの 日は、
どこへも でかけないで、うちの 中
に いました。そして、ひどい かぜ
で かさが ひっくりかえった 人を
見て、

「ああ よかった。だいじな かさが

こわれたかも しれない。」
と いました。

(1) おじさんの かさは、どんな
かさでしょう。
くろくて [] ひかった
つえのような りっぱな かさ

(2) おじさんは つぎの とき、どう
したでしょう。
すこしくらいの 雨の とき、
ぬれた まま

(3) いそぐ とき、
かさを しっかり だいて、

(3) 雨が やまない とき、

しらない 人の [] に

(3) [] には どんな ことばが
入るでしょう。
からです。

「つらめん入 つづく」

2

よんで ことえましよう。

35てん

たおれた 木から、ピョンと ジャ
ンプして じめんに おりた ひめね
ずみの 子は、木の 実^みに、ゆっくり
ちかづきます。

はなで においを かいで たしか
めてから、虫^{むし}の ついて いない 実
を えらび、口^{くち}で くわえて つまみ
あげます。

実を りようてで ささえ、くるく
ると まわして、しっかりと くわえ
る ことのできる ところを みつ
けます。そして、ものかげなどの あ
んぜんな しょくじ場^ばに はこんで
たべます。

ひめねずみは、するどい 前歯^{まえは}で、
じょうぶな 皮^{かわ}を さいて はがした
り、かたい からに あなを あけた
りして、なかみを たべます。
(今泉 吉晴『がんばれひめねずみ』より)

(1) ひめねずみは どんな 実を え
らんで たべるでしょう。(7てん)

実。

(2) ひめねずみは 木の 実を ど
のように はこぶでしょう。

1つ4(8てん)

く み
ばんごう
名まえ
とくてん
なにも かかない こと。

で しっかりと

はこぶ。

(3) ひめねずみは どこで 木の 実
を たべるでしょう。 1つ4(8てん)

などの

な しょくじ場

で たべる。

(4) ひめねずみは 木の 実の なか
みを どのように して たべるで
しょう。 1つ4(12てん)

を

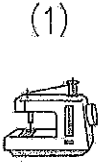
はがす。

・からに

を あける。

3

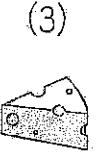
つぎの まちがつて いる
ことばを 正しく かきなおし
ましよう。 1つ5(15てん)



ミシン



アイク



チーズ

こたえ

てびき

1

「かくにんテスト」

- (1) (くろくて) ほそくて (こ) びかびか(ひかった つえの ような りっぱな かさ)
- (2) ① (ぬれた まま) ある きました (こ)

- ② (かさを しっかり だいて) はしっていき ました (こ)
- ③ (しらない 人の) か さ(に) はいりました (こ)

2

- (1) ぬれる(からです)
- (2) 虫のついていない(実。)
- (3) 口(で)しっかりと(くわ えて(は)こぶ。)
- (4) ものかげ(などの) あんげ ん(な) しょくじ場で たべ る。

- (4) (前歯で)皮(かわ)(を) さいて(は)がす。
- (からに) あな(を) あけ る。

3

(1)	ミ	シ	ン
(2)	マ	イ	ク
(3)	チ	ー	ズ

1

- (1) おじさんの かさは、「でかける ときは いつも」もって かけたくなるくらい「りっぱ」だったので。
- (2) ①「すこしくらいの 雨は」、②「いそぐ ときは」、③「雨が やまない ときは」という ことばに ちゅうもくしましょう。
- (3) おじさんは、「でかける ときは いつも、かさを もって でかけ」て いたのに、雨が ふって きても、かさを さそう とは しませんでしたね。とても だいじな かさだったので、 おじさんは ぬらすのが いやだったので。

2

- (1) 「どんな 実を えらんで たべるでしょう」と あるので、 「木の 実」という ことばは まちがいです。
- (2) 「虫の ついて いない 実」を、口(で)くわえて (は)こぶの です。
- (4) ひめねずみが、木の 実の なかみを たべる ようすは さ いこの まどまりに かけて あります。

3

- (1) 「ツ」を「シ」に なおしましょう。
- (2) 「ア」を「マ」に なおしましょう。
- (3) 「テ」を「チ」に なおしましょう。